

日本人にも外国人にも大好評のコンサート。
半永久的な日本文化の伝達のために記録に保存する。

日本人でも演奏を聴くことが少ない邦楽だが、初心者にもまた外国人にも大好評を博している伝統音楽コンサートがある。財団法人 国際文化会館が年2回開催する「IHJ伝統文化シリーズ」だ。今回その公演の様態をアーカイブ化してDVDに納めるという初の試みが行われた。

わかりやすさ満点。会場は満員。

「良い芸術に日本人も外国人もありません。日本の素晴らしい伝統音楽を聞いていただければその魅力は伝わるのです。私たちはそのお手伝いをしてだけです」財団法人 国際文化会館の芸術監督で尺八奏者でもあるクリストファー・ブレイズデルさんは、開口一番そのように語った。

財団法人 国際文化会館は文化、学術、教育などの分野でさまざまな国際交流事業を行っているが、「IHJ伝統文化シリーズ」では、英語と日本語のわかりやすい解説を交えて、外国人や普段邦楽に触れる機会の少ない日本人にむけて演奏会を行っている。邦楽というちょっと敷居が高い感じもするが、一流の演奏家のコンサートを



コンサートの様態を記録するためカメラをセッティング

普段着感覚で鑑賞できるとあって毎回超満員という人気シリーズだ。

2008年10月の第6回は琵琶音楽のコンサートだった。同じ「祇園精舎」を筑前琵琶と薩摩琵琶で演奏し、聞き比べることができるというユニークな取り組みである。また第7回は2009年2月に行われ、こちらは人間国宝の山本邦山師らを迎えての尺八の演奏会だった。尺八には「一音成仏」という言葉があり、1つの音で十分に足りると

言う意味で、まさしく音色を聞いただけでも陶酔するような演奏会になった。尺八はシンプルな楽器だが、禅の瞑想音楽にはじまり、自然を表現した標題音楽、さらには現代音楽とのコラボレーションなど多彩な使われ方をしている。

こうした情報も日本語と英語の双方で解



完成したDVDのトップ画面 もちろん日英表記だ



人間国宝の山本邦山師らの演奏

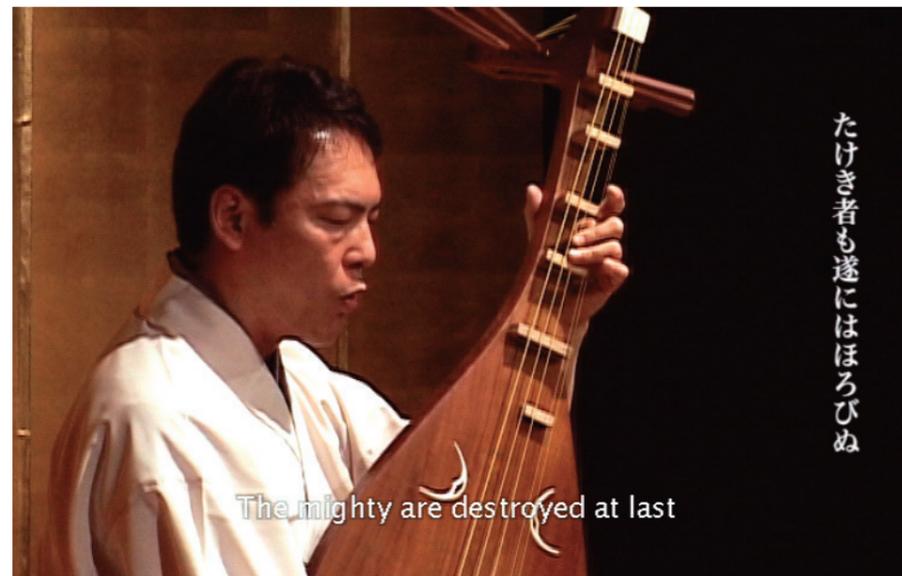


ブレイズデルさん自身も演奏者として参加

説されるので、観客はすんなりと演奏の世界に入っていくことができる。この演奏会で初めて邦楽にふれた人や、めざめた人も多いそうだ。

来場できない人のためにアーカイブ化を実施。

日本の伝統音楽にふれるという意味でコンサートは大成功を取めているが、ちょっとした問題がでてきた。「コンサートは1日だけです、来場できない方も多



DVD画面。日本語と英語の両方で「平家物語」の世界が味わえる

担当者より



今後も日本の伝統音楽を国内外に伝えていきます。

財団法人 国際文化会館
芸術監督
クリストファー・ブレイズデルさん

コンサートはもちろん生で聴くことが一番ですが、瞬間に消えていく芸術でもありますので記録にとどめることにしました。AJOSCのご支援によって、2つのコンサートをDVDに収録することができ、たいへん感謝しております。

んです。しかし予算の都合もありますので、回数も増やせません。そこでDVDに保存して見ていただけるようにしようということになったのです。実験的な演奏会が多いので、資料価値も高いと考えています」(ブレイズデルさん)

AJOSCではこの記録保存プロジェクトに対して、助成を行うことになった。記録は綿密に構成され、画面を見ていただければわかるがコンサートと同様にDVDでも日英併記で解説され、演奏者のアップなど迫力のあるカットが並ぶ。来場した人がもう一度観ても楽しめるだろう。

今のところ市販される予定はないが、国際文化会館に来館して希望すれば同館の図書館で閲覧することができる。また、国内外の国際交流機関や教育機関にも実費で提供することを考えている。

「将来にわたって、より多くの外国人に日本の伝統文化を知っていただくための資料ができました。また、こんなに素晴らしい伝統音楽があるのに、日本の皆さんが聞かないのはもったいない話です。琵琶も三味線もその音色を聞くだけでも価値があります。今後もこのシリーズは続けて参りますので、ぜひ皆さんにも足を運んでいただきたいと思います」

良いものに国境はない、ブレイズデルさんは繰り返し語った。